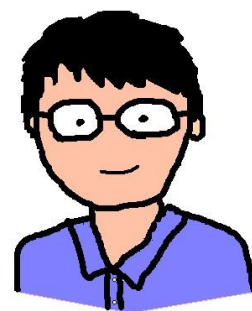




子どもたちの成長を見つめて

私が4月にこの学校に赴任して、まず驚いたことは、地域の方たちのサポートの手厚さです。たくさんの地域の方々がすすんで学校を支えていただいていること、本当にうれしく思いました。

今回は、その中でも、毎朝、子どもたちの登校時に立っていただき、安全を見守っていただいている岡本忠佳さんと、中西正幸さんにお話を聞かせていただきました。



毎日、子どもたちの安全を見届けていただく岡本さん（左）と中西さん（右）

Q：交通安全のボランティアをどれくらいしていただいていますか？

A：岡本さん…最初に取り組んだのは2008年に町会長をやっていた時です。「この学区内では子どもを見守ってくれる大人がいない」という声があり、そこから県の交通安全活動のシルバーリーダーの講習を受けました。実際には2012年頃から、活動を始めました。最初は、犬を連れて、官舎の近くに行って、子どもたちと学校まで歩いていたんです。

A：中西さん…私も町内会の役員をしていた時、岡本さんと知り合いになってから、このボランティア活動をさせていただいています。この活動は5、6年になります。

Q：お二人とも、子どもさんが卒業されてからも、この東大淀小のために尽くしていただいていると思います。それはなぜなのでしょう？

A：岡本さん…やっぱり、地域の自治会長をやると、地域のことに広く目が向きます。地域の中で足りないところは補いたいと思うようになります。

A：中西さん…私は、子どもたちと関わることで、子どもたちの挨拶の中からも、勇気と元気にもらいます。みんなで楽しくやっていけたらという思いです。

Q：普段、東大淀小の子どもたちを見てもらって、気づかれることはありますか？

A：岡本さん…子どもたちがまとまってくる時は安心していますが、ぽつんと一人で来る子も時々います。その時、「大丈夫かな？」と心配になることもあります。「馴染んでないのかな？」と気になることもあります。

A：中西さん…1年生の子どもたちが登校してきますが、高学年の子たちが下級生のことを考えて歩いてくれているのはいいことだと思いますね。

A：岡本さん…1年生の挨拶はいいですね。大きな声で挨拶してくれて、うれしいですね。高学年の子どもたちの中でも元気に挨拶する子はいますが、もう少しがんばってほしい子もいますね。



Q：こうやって、ボランティアを続けていただいて、よかったことはありますか？

A：岡本さん：やっぱり、朝に同じ時間に家を出るということで、自分の生活習慣のリズムとしてはいいですね。子どもたちが来てくれるから、行かなあかんと思うと、それが自然と毎日のリズムになります。



A：中西さん…やっぱり規則正しい生活ができますね。

Q：子どもたちの成長が見ることができの喜びもありますか？

A：岡本さん…ありますよ。自転車で桜浜中学校に通う中学生がいますが、その子たちが挨拶してくれるのもうれしいことです。町のお祭りの時には、もっと成長した子どもたちの姿を見ることがあります。そこで、少し会話ができるのもうれしいですね。

Q：ボランティアの「これから」ということで、考えられることはありますか？

A：岡本さん…社会的に定年が延長したために、ボランティア活動をやろうとすると70代以降になる可能性があります。そのような人たちを取り込むことは難しいです。退職してからも自分がやりたいことがある人もいて、ボランティア活動が負担になる人もいます。ボランティア活動をする人は減ってきていると思います。後を引き継ぐ人を育てていかないといけないと考えています。後継者育成ですね。

A：中西さん…毎日、ここまで来ていただくような人を探すとなると、なかなか難しいですね。

Q：最後に、子どもたちへのメッセージをお願いします。

A：岡本さん…朝は元気に挨拶してほしいです。それで、皆さんの健康状態もよくわかりますから。

A：中西さん…みんなが仲良く、楽しい学校生活を送ってほしいです。目標を自分たちで立てながら、それに向かって頑張れば、先にはきっといいことがあると思います。頑張ってください。

お二人の話を聞かせていただき感じたのは、長きにわたって、子どもたちの成長を見続けてきていただいたその温かな眼差しです。私たち教員は、どれだけ長くいても、1つの学校にいるのは5・6年です。しかし、岡本さんと中西さんは、それよりもっと長い年月の間、子どもたちの表情を毎日見続ける、校庭の「くすのきさん」のような存在なのだと感じました。そんな温かな眼差しがあるからこそ、子どもたちは元気に学校に登校することができるのだと、感謝の思いでいっぱいになりました。一方で、お二人が語っていただいた「後継者の育成」ということは、ともに考えていかななくてはならない課題です。学校は保護者、地域とともにあります。児童数の減少、地域の過疎化といった社会問題の中で、学校、保護者、地域の三者の関係をいかに充実させていくか、皆さんといっしょに考えていきたいと思っています。